

ウイルス抗体検出（CF，HI，NT，FAT）検査の留意点

【提出検体量】

CF法による「ウイルス抗体価検査」において多項目を同時にご依頼の際は、下表の血清量および髄液量を目安としてご提出ください。

なお、検査項目によって多少異なる場合がありますので、ご注意ください。

項目数	提出検体量 (mL)	
	血清(血液)	髄液
2～5項目	0.6 (2.0)	1.0
6～10項目	1.0 (3.0)	1.8
11～15項目	1.5 (4.0)	2.5
16～20項目	2.0 (5.0)	3.0

【検査結果の解釈】

急性期（発病初期）と回復期（発病2～3週間後）の血清を同時に測定し、抗体価が4倍以上の上昇を示した場合、血清学的に有意と見なします。

したがって、急性期と回復期の血清をペアにしてご依頼いただくことをお勧めします。なお、ペア血清をご提出の際は、1依頼書で1検体とし、それぞれの依頼書には必ず採血日を記入してください。

【検査実施料の算定】

- 1) 同一ウイルスに対して複数の測定方法を行った場合でも、所定点数は1回分として算定されます。
- 2) 同一検体を用いて特定のウイルスの個々の群または型について測定を行った場合でも、所定点数は1回分として算定されます。
- 3) 同一検体について複数のウイルス抗体価を測定した場合、検査実施料の算定は8項目が限度となります。